

サークル紹介 北九州市立大学 合気道部

技の稽古を通して心身を鍛える。

年齢や性別、体力などに関係なく始められる護身術として知られる合気道。本学の合気道部は現在創部19年目、10名の部員が「小倉祥平塾」の皆さんと、学内の武道館で週3日、学外の道場で週2日、稽古に汗を流しています。合気道の魅力について聞いてみると、「常に平常心が保てる、落ち着いた心が身につきます。いざ本番という時にも落ち着いて対応できると心強いもの。自分の身を守る術も身につきますし、興味のある方はぜひ稽古を見に来てください」。

武術をベースにしながらも勝ち負けを争うことを否定する合気道は、すべてのものを守り育てるという「万有愛護」の精神を大切にしています。そのため試合などはありませんが、日頃の稽古の成果を披露する演武会を開催。今年は9月23日(月・祝)に小倉南武道場で行われます。



合気道部のモットーは「一日一生」。今日一日を大切に生きることが一生を大切に生きることに繋がるとの意味。



凛とした雰囲気の中で行われる稽古。礼節や高い精神性も身につけられそうだ。

北九州市立大学[北方キャンパス]

秋季オープンキャンパス

平成25年9月23日(月・祝) 10:00~16:05

入試・留学等個別相談コーナー

入学試験、学生生活、留学や就職についての質問に担当事務職員がお答えします。

保護者説明会

担当事務職員による入試・就職についての説明と教員による保護者向けの模擬授業を行います。

キャンパスツアー

学生スタッフがキャンパス内を案内します。在学生と直接話せて、北九大を身近に感じられるチャンスです。

ひびきのキャンパス(国際環境工学部)は
11月9日・10日開催予定



青風

The University of Kitakyushu Information

seiran
vol.33

未来へ吹きわたる
つよい風となれ

公立大学法人 北九州市立大学 学報

発行日／2013年9月20日 発行元／北九州市立大学広報入試課

青風

特集1：北九州まなびとESDステーション

特集2：就職羅針盤「福岡県警察」

平成25年度 ひびきのキャンパス成績優秀者表彰

経済学部設置60周年記念インタビュー

インターナショナルカフェレポート



あつまる、ひろがる、動き出す。

北九州 まなびとESDステーション

北九州まなびとESDステーションは、
学びたい人が自由に学ぶ場所。
まち全体を教室に、だれもが先生に、
生徒になれる場所。

北九州の全10大学と地域社会が連携し、
実践活動を通じて将来を担う人材育成に取り組む
プロジェクトです。(文部科学省 大学間連携共同教育推進事業)

[連携校]

北九州市立大学 九州女子大学
九州共立大学 産業医科大学
九州国際大学 西南女学院大学
九州歯科大学 西日本工業大学

[協力校]

九州栄養福祉大学
九州工業大学



小倉北区・魚町銀天街内の商業ビル地下にある
「まなびとESDステーション」

北九州まなびとESDステーションでは、年齢や職業に関係なく、学びたい人(まなびと)なら誰でも参加できる「まなびと講座」と、大学生が地域や企業、まちの人の協力のもと、まちの課題に取り組む実践プログラム「まなびとプロジェクト」が進行中。今回は、北九大生が活躍している3つの「まなびとプロジェクト」を紹介します。



現在20以上の「まなびとプロジェクト」が
動いており、多くの学生達が活躍中だ。

ESDとは?

「持続可能な発展のための教育」
(Education for Sustainable Development)
の略称です。

北九州まなびとESDステーション

[住所] 北九州市小倉北区魚町3-3-20 中屋ビル地下1F
[開所時間] 11:00~19:45
[休所日] 毎週水曜日、祝日・年末年始



ギラヴァンツ北九州 応援プロジェクト

【協力機関】ギラヴァンツ北九州

Jリーグ加盟の地元サッカークラブ「ギラヴァンツ北九州」のホームゲーム開催時に、学生集客数を向上させる活動に取り組んでいます。北九州市は大学数も学生数も多いのに、学生の観戦者数が全国的にも少なくて残念。地元初のプロチームだからこそ若い力で支え、盛り上げていこうと団体名を「GiraQ uni.(ギラキュー)」と命名。北九州市立大学をはじめ九州共立大学、九州女子大学、西南女学院大学、九州国際大学、東亞大学(下関)の6大学22人が週1のミーティングで、様々な集客案を話し合いながら活動しています。具体的には試合告知の予定を立てて様々な大学へ出向き、チラシ配布などを行うほか、夏祭りなどの地域イベントで広く一般に向けた告知活動や、試合会場にブースを出して子ども向けの工作教室を行うなど。

法学部に在籍しているので「マーケティング」という言葉さえ知りませんでしたが、自分達で企画し実行した後に結果を見て、改善点を考え次に繋げて目標達成へ向けた行動を繰り返すプロセスは、今後も様々な場面で生かせるのではないかと思っています。私の出身地は鹿児島ですが、このプロジェクトを通じてたくさんの素敵な人々に出会い、北九州がとても好きになりました。卒業後もこの街に残り、「GiraQ uni.」が大きな力に育っていく姿を見守っています。

[話：秋山幸恵さん(法学部4年)]



ギラヴァンツのマスコットキャラクター「ギラン」の塗り絵イベントは子どもに大好評!



「メンバーがない大学での告知活動は難しいので、多くの大学から参加して欲しい」と秋山さん。



大学の垣根を越えた仲間に出会い、お互いに様々なことを吸収しながら成長していく。



ラジオ番組に出演してギラヴァンツをPR。facebookなどメディアを使い、自ら情報発信も。

藍島プロジェクト

【協力機関】北九州ESD協議会

小倉北区浅野から船でわずか30分。響灘に浮かぶ有人島「藍島」は、工業都市として発展してきた北九州とはまるで別世界のような美しい海と豊かな自然に恵まれた漁師島です。この島の様々な環境資源を生かし、海や自然と触れあう機会が減っている北九州の小学生達に自然環境への理解を深めて欲しいという思いから生まれたこのプロジェクトには、北九州市立大学と九州女子大学、西日本工業大学の12名が所属。この9月には小学1年から6年の子ども達に向け、藍島での環境教育を企画しており、中高生も巻き込んでみんなで準備を進めていくところです。今回の体験学習で子ども達に伝えたいのは、自然の美しさや大切さ。漁師さんの仕事ぶりや島内の散策、魚とのふれ合いなどをとおして、自然への興味や関心を引き出すとともに、海岸でのゴミ拾いも行って、漂着ゴミなど環境問題の現状も知って欲しいと考えています。

企画のアイデアを探るため、これまで何度も藍島へ足を運びましたが、メンバーだけでなく島の漁師さんやまちづくり協議会の方々など多くの人と共に同じ目標を共有しながら計画を進める過程で、調整や折衝など様々な経験ができ、多くのことを学ぶことができました。

また、大学の外に出て活動することで、多彩な人々との縁がどんどん広がっていくのも大きな財産。大学で講義を受ける日常とはまた別の意味で、充実した勉強の場になっています。



野生の草花など、手つかずの自然に目を輝かせる子ども達の姿にやりがいもアップ。



小学生と直にふれ合い、指導する経験は教師を目指す学生にとっても貴重な機会だ。



子ども達に、どんな視点から何をどのように伝えるか。自らも考え、学んでいく。



今後は本土の小学生と藍島の小学生の交流を図るべき作りなど、活動の幅も広げる予定だ。

北九州シビックプライド掘り起こし

【協力機関】北九州市総務企画局企画課

北九州で生まれ育った私はこの街が大好き。けれども市外出身の人などから「北九州って怖い」「治安が悪い」「夜は出歩けない」といったことを聞くととても悲しくなります。北九州には優れた環境技術をはじめ素敵なおこがたくさんあるのだから、この街の良さをもっと発信し、PRしていく必要性を感じますし、自分の街を好きになることも大切だと思い、大学生のシビックプライド向上に向けた取り組みを行っています。元々は地域創生学群の実習だったプロジェクトですが、今年から他大学のメンバーも募集して現在8名が活動中。北九州の良いところを知つてもらうのももちろんですが、街のために動く様々なまなびとプロジェクトに関わる学生が増えれば、自分も街の一員だという自覚に繋がるのではないか。そんな考え方から、ESDステーションに興味を持つてもらい、地域活動に参加する学生を増やすために「KITAcafe」という交流イベントを開くようになりました。自分達の手で企業などの協賛をとつて物資を集めたり、会場運営や集客を行ったりと、すべてを一から作り上げていくのは大変なことですが、交流イベントの終盤に他大生同士が仲良くなり、「こんなことやろうよ」と言いながら帰っていく姿を見ると、自分達の活動は社会的にも意義がある、とやりがいを感じます。北九州をもっと好きになり、ここに住み続けたい、ここで就職したいと考える学生を増やし、より良い街づくりに繋がればと思っています。

[話：村田奈々美さん(地域創生学群3年)]



地域活動に縁のなかった学生に一步踏み出すきっかけを作るため、交流の場の創出を行う。



北九州の良いところって何だろう? ワールドカフェ形式のワークショップで賑やかに話し合い。



人を繋げ合い、価値観を共有することで、新たな切り口や大きな力が生まれる。



これまで3回開催した「KITAcafe」。毎回約100名が参加する人気イベントだ。

ひびきのGPA表彰

平成25年度 ひびきのキャンパス成績優秀者表彰

学科毎に3年次終了時点の成績(累積GPA)上位者15名が選ばれました。6月18日(火)に表彰式が行われ、学長より賞状と楯が授与されました。

区分	学科	最優秀賞	優秀賞
国際環境工学科	エネルギー循環化学科	寺坂一沙	中西亮輔、伊福知美
	機械システム工学科	松井美樹	秋田勇太、神宮一馬
	情報メディア工学科	實井勇太	江間勇哉、佐々木恵理子
	建築デザイン学科	小畠拓未	小幡剛士、七田恵理子
	環境生命工学科	藏本麻央	白水聰之、宮本あづさ



視野を広げ、世界と繋がろう！ インターナショナルカフェ INTERNATIONAL CAFE

国際教育交流センターでは平日の昼休みに、各国からの留学生とそれぞれの言語で会話を楽しむインターナショナルカフェを開催しています。

コリアンカフェにイングリッシュカフェ、チャイニーズカフェなど世界各国の文化に触れるチャンス。参加は自由、気軽に国際交流を楽しもう。



コリアンカフェ・レポート

週一度お昼休みにランチを食べながら、文化やオシャレのことなどいろいろなお喋りをしています。カフェに来る北九大の学生は韓国語の授業をとっている人が多く、韓国語で会話してもほとんど問題はありません。外国語や外国の文化に興味持ってくれる人達が多くて嬉しいです。韓国の仁川大学校で日本経済を専攻している私たちは、日本の文化や言葉に興味があつて留学してきました。1年経ったら私たちは再び韓国の大學生へ戻りますが、日本人は優しくて日本が好きなので、また戻ってきたい。国際交流の仕事に就けたらいいな、と思っています。



日本のテレビドラマの話をしたり、韓国のおすすめスポットを教えてもらったり。教科書とは違う、生きた韓国語を学べる貴重な時間。



韓国・仁川大学校で日本通商を学んでいる(左)閔愛智(ミンエジ)(右)孫蘭(ソンラン)さん(21歳)。交換留学制度を利用して1年間本学へ留学中で、コリアンカフェの講師役も務める。

海外留学インフォメーション

本学では現在8カ国22大学2研究所と協定を結び、外国語の習得や異文化・社会の理解を促す様々な留学制度を用意してグローバルな人材育成にも力を入れています。詳しくは国際教育交流センターまで。

各国の協定校との交換留学や派遣留学、海外語学研修など種類や期間は多彩、補助金や奨学金制度も充実している。



より良い社会をデザインするために ～経済学部設置60周年を迎えて～

経済学を学ぶ意味ーそれは、世の中をデザインしていく力を身につけることです。

経済学の考え方や思考法は、限りある資源や人のパワーをより有効に活用・配分するための基礎であり、現代社会の様々な分野にも応用されています。例えば、医学部研修生と研修病院のマッチングを行う研修医制度やオークションの設計、会計制度に組織や企業システムのデザインなどもその一つです。

経済学や経営学を学ぶことは、世界や地域、組織など社会を取り巻くあらゆる場所で、新たな市場や制度を創造するために欠かせない、非常に有益なツールを手に入れることだととも言えるでしょう。

本学部の教育理念と目標は、「みずから現実の中で課題を見出し、この課題を解決する能力を兼ね備えた問題解決型人間を養成する」こと、つまり「自分の頭で考えて、自分で問題を解決し、より良いデザインができる人材を育てる」とことです。

そのため、本学部の教育システムには数々のユニークな特徴があります。

少人数制のゼミは、学生と先生の距離が非常に近いからこそ、学問と就職の両面からマックス大学にはない手厚い指導が可能となり、学生達の成長に大きく寄与しています。

また、3年時に選択できる単位制のインターフィップや、公務員講座や簿記講座など、

即戦的・実践的な能力開発のサポートも充実しています。加えて本学は文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に採択されており、学生の英語力強化を進めるとともに、広い視野を持つ活躍する人材を育てる先進的なプログラムも計画中です。

経済学は文系の分野に分けられますですが、実は理系の要素も持ち合わせた学問です。数学が好きで社会にも興味を持っている高校生や、英語や数学を使って社会に貢献したいと考える方などにも、本学部の門戸は広く開かれています。

文系理系の別を問わず、経済学というツールを使って社会の課題を解決する意欲を持つ方々に、本学部でぜひ学んで欲しいと思います。

本学部の前身である商学部が開設されたのは1953年、今から60年前のことです。以降、多くの優秀な先生方が教育と研究に力を尽くし、教育システムや入試制度などの改革を重ねてこられました。先駆達の不断の取り組みが本学部の長い伝統の原動力となり、高い就職率などの優れた実績に結びついています。

還暦を迎えた本学部は、教育・研究・社会貢献の三方向から一層の力を注ぎ、輝かしい歴史を紡ぎながら更なる飛躍を目指しています。



経済学部 教授 経済学部長
柳井 雅人

北九州市立大学 経済学部 設置60周年記念ゼミコンペ＆シンポジウム

9月23日(月) [秋分の日] 午後1:00~3:15 [北九州市立大学 本館 A101]

第1部 入門ゼミ・コンペティション

経済・経営情報両学科の1年生によるプレゼンテーションのコンペティションです。テーマの着眼性や説明の論理性、表現力などを総合的に競い、来場者の投票で優秀者を決定します。

第2部 シンポジウム

テーマ：地域で取り組もう！人づくり－高校と大学と社会の連携を考える

出席者：吉田和正氏（日本政策投資銀行参事役、元鹿児島大学経営理事）

山崎 脣氏（北九州活性化協議会 専務理事）

宮町良広氏（大分大学経済学部教授、学長補佐）

田代龍一氏（東筑高等学校 キヤリア教育部長）

杉山博昭氏（小倉西高等学校 主幹）

植田泰光氏（八幡南高等学校 進路指導主事）

藤本帆南さん（本学部学生）

前田淳氏（本学部教授 司会）



60周年を記念して作られた経済学部のロゴマーク。オレンジは「活力」、黄色は「知性」、3つのKは「北九州」「経済学部・学科」「経営情報学科」の3つの意味を表します。また、ひまわりの花言葉は「あなただけを見つめる」。学生達への惜しみない愛情と、真摯な指導姿勢の意味を込めています。



市民、県民の安全・安心を守る 福岡県警察

あなたは「公務員」にどんなイメージを持っていますか？安定？やりがい？それとも狭き門…？

本学の卒業生の就職先を調べてみると、実は国家／地方公務員の割合が大変多く、教職をのぞいても毎年全卒業生の約1割を占めているんです。

そこで、毎年10名近くが入職している福岡県警察で活躍中の先輩に、警察官の仕事について聞いてみました。

井元 正寛 [Imoto Masahiro]さん（24）

北九州市立大学法学部法律学科卒業後、平成23年4月に福岡県警へ入職。現在は福岡県警察本部 警備部 第二機動隊に所属。



Q 福岡県警察を志望した理由は？

A 幼い頃から、強く優しく弱者の味方である警察官になることが夢でした。凶悪な事件や犯人と対峙し、問題を解決していく刑事になりたいと思い、警察の仕事に少しでも役立つよう、大学では法律を学びました。

Q 採用試験をパスするには？

A 絶対に警察官になりたかったので民間企業の就職活動は行わず、試験勉強だけを続けました。1度目は落ちたのですが、県警の採用試験は年に2回あり、2度目のチャレンジで体力試験にも無事に合格できました。

Q 入職後はどうやって仕事を覚えるの？

A 15ヶ月の研修期間があります。最初の半年は、警察学校で法律や警察官としての規律などを学び、その後に交番実習で、市民への言葉遣いや対応の仕方などを習得。再び警察学校と交番実習を経て、研修期間が終わります。

Q 研修期間の感想は？

A 規律面や体力面で思った以上に厳しく、心身ともに鍛えられて学生気分が抜けますね（笑）。しかし、お互いに励まし合いながら培っていく仲間や上司との絆は何ものにも代え難い。絶対に乗り越えられるので、大丈夫です。

Q 現在の仕事内容は？

A 水難救助や水中での証拠品捜索などを行うスクーバ部隊に所属しており、専用プールで潜水の特訓中です。その他、暴力団壊滅に向けた取り組みや、重要施設の警戒、花火大会などの警備にも行きますね。

Q 県警の仕事の魅力はどんなところ？

A 仕事内容が多岐に渡るので、それぞれの目標を持って仕事ができます。そして何より、一生懸命仕事をした時に、感謝されることが魅力です。警察官として当たり前の仕事をしていても、皆さんに喜んでもらえるのは本当に嬉しい。

Q どんな時にやりがいを感じる？

A 誰にでもできる仕事ではない、という誇りや、自分にしかできないという使命感を持って仕事をしている時。交番や警察に来る方は困っている人が多いので、頼りがいのある警察官になりたいです。

Q 在校生にメッセージを。

A 警察官の仕事はきついことも多いけれども大変やりがいがあり、人間としても成長できる職場だと思います。北九大学生が同じ福岡県の安全・安心を守るという大きな目的を持って、警察官を拝命されることを期待しています。

福岡県警察本部 警備部 第二機動隊



暴力団犯罪防止のための警戒警ら活動など、暴力団の壊滅に向けた各種活動にも従事。



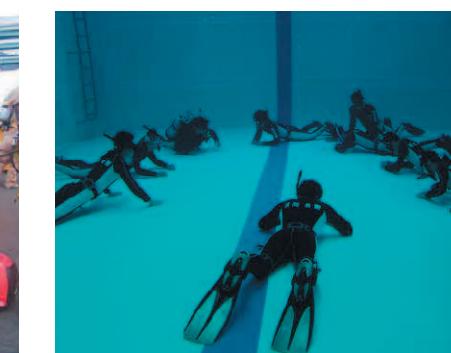
東日本大震災や九州北部豪雨といった大規模災害時は、捜索・救助活動や治安警備活動を行う。



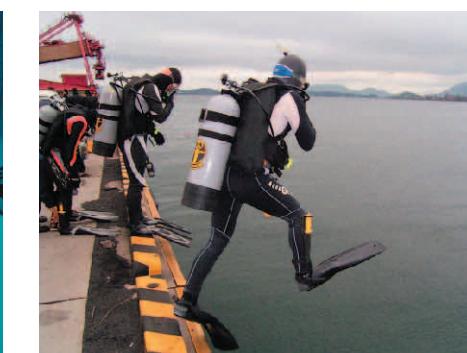
人質立てこもりや山の急斜面、断崖絶壁等の現場で救助活動を行うレンジャー部隊。



爆化処理部隊は爆発物容疑物件やNBC(核兵器、生物兵器、化学兵器)テロなどに対応。



井元さんが所属する潜水専門のスクーバ部隊は、海や河川などで水難事故が発生した場合の救出・救助や、水中に遺棄された事件証拠品の捜索などが任務。



【福岡県警察の概要】

県民の暮らしと社会の治安を守る福岡県警察の仕事には、様々な職務があります。研修後の配属先で任務につきながら、刑事部や交通部などの各部門に進むための検査研修を受講できるなど、実務に直結した各種研修制度も充実しています。

[地 域 部] 事件や事故に24時間体制で対応し、パトロールなどで地域に密着した活動を行う。

[生 活 安 全 部] 子どもや女性、高齢者を狙った犯罪や、少年による犯罪などの予防、取り締まりなどを行う。

[刑 事 部] 殺人や強盗、汚職や振り込め詐欺など、凶悪・巧妙化する犯罪に立ち向かい、解決する。

[暴 力 団 対 策 部] 薬物や銃器の密売など、暴力団や来日外国人による組織的な犯罪の壊滅を目指す。

[交 通 部] 交通安全教育や白バイ等による交通違反の取り締まりなどを通じ、交通事故のない社会を目指す。

[総 務 部 / 警 務 部] 広報活動や犯罪被害者への支援、会計経理等のほか、警察組織の福利厚生や教育・訓練等を行う。

[専 門 捜 査 官] 國際化や情報化が進み、多様化する事件・犯罪を「経済」「語学」「情報工学」の専門知識でサポート。

<北九州市立大学 平成24年度就職状況>

卒業生のうち、公務員になる人の進路は福岡県警察の他、北九州市役所をはじめ各地の市役所や県庁などの地方公務員、自衛隊や国税局、法務局といった国家公務員など多彩です。

業種別構成比率の推移

